

三村隆男 教授 略歴・業績

略歴

- 1953年 石川県生まれ
- 1977年 埼玉大学教育学部卒業
- 1977年 埼玉県立高等学校教諭（2000年3月まで）
- 1996年3月 東洋大学大学院文学研究科修士課程（教育学専攻）修了
- 2000年4月 上越教育大学大学院学校臨床コース専任講師（2002年3月まで）
- 2002年4月 上越教育大学大学院発達臨床コース准教授（2008年3月まで）
- 2004年3月 東洋大学大学院文学研究科博士後期課程（教育学専攻）退学
- 2008年4月 早稲田大学大学院教職研究科教授（2017年3月まで）
- 2012年9月 早稲田大学大学院教職研究科 研究科長（2016年8月まで）
- 2017年4月 早稲田大学大学院教育学研究科高度教職実践専攻教授（2024年3月まで）
- 2018年4月 カリフォルニア州立大学バークレー校 Visiting Fellow（2018年6月まで）
- 2021年9月 早稲田大学大学院教育学研究科高度教職実践専攻 専攻主任（2023年8月まで）
- 2023年5月 国立教育政策研究所フェロー及び有識者懇談会委員（現在に至る）

委員会・社会における活動等（2024年3月現在）

- 2005年11月 日本キャリア教育学会 理事（現在に至る）
- 2009年4月 厚生労働省労働政策審議会人材開発分科会 臨時委員（2019年3月まで）
- 2012年8月 日本教職大学院協会 副会長（2016年8月まで）
- 2014年11月 日本キャリア教育学会 会長（2018年12月まで）
- 2015年4月 日本スクールカウンセリング推進協議会 副理事長（2018年3月まで）
- 2015年9月 アジア地区キャリア発達学会 会長（2017年5月まで）
- 2017年4月 日本学術振興会科学研究費委員会 専門委員（2019年3月まで）
- 2017年5月 アジア地区キャリア発達学会 副会長（現在に至る）
- 2018年4月 日本スクールカウンセリング推進協議会 理事（現在に至る）
- 2018年9月 国立教育政策研究所 プロジェクト研究「次世代の学校における委員等の養成・研修、マネジメント機能強化に関する総合的研究」に係る委員（2019年3月まで）
- 2021年6月 文部科学省「生徒指導提要の改訂に関する協力者会議」協力者（2022年まで）
- 2021年8月 国立教育政策研究所 プロジェクト研究「社会情動的（非認知）能力の発達と環境に関する研究：教育と学校改善への活用可能性の視点から」に係る研究分担者（2023年

3月まで)

2021年9月 日本教職大学院協会 理事 (2023年9月まで)

2023年5月 国立教育政策研究所フェロー (現在に至る)

著書 ((単)は単著, (分)は分担執筆, (翻)は翻訳を示す。)

1. 『インターンシップが教育を変える—教育者と雇用主はどう協力したらよいか』(翻)(雇用問題研究会, 2000年10月)
2. 『キャリア教育入門—その理論と実践のために—』(単)(実業之日本社 2004年10月)
3. 『はじめる小学校キャリア教育』(編著)(実業之日本社 2004年11月)
4. 『キャリア教育が小学校を変える!』(編著)(実業之日本社 2005年4月)
5. 『キャリア教育の系譜と展開』(分)(雇用問題研究会 2008年3月)
6. 『小学校キャリア教育実践講座』(単)(日本進路指導協会 2008年8月)
7. 『新訂 キャリア教育入門』(単)(実業之日本社 2008年8月)
8. 『書くことによる生き方の教育の創造—北方教育の進路指導, キャリア教育からの考察』(単)(学文社 2013年3月)
9. 『教師というキャリア Life Cycle of the Career Teacher ~成長続ける教師の六局面から考える~』(翻)(雇用問題研究会 2013年4月)
10. 『学校マネジメントの視点から見た学校教育研究: 優れた教師を目指して』(編著)(学文社 2019年4月)
11. 『新版キャリア教育概説』(編著)(東洋館出版社 2020年9月)
12. 『「社会情緒的(非認知)能力の発達と環境に関する研究: 教育と学校改善への活用可能性の視点から」(学校改善チーム)中間報告書(米国・中国調査)』(分)(国立教育政策研究所生徒指導・進路指導研究センター 2021年8月)
13. “Diversifying Schools: Systemic Catalysts for Educational Innovations in Singapore (Education in the Asia-Pacific Region: Issues, Concerns and Prospects Book 61) (English Edition)” (分)(Springer 2022年2月)
14. 『学校教育を深める・究める』(分)(日本学校教育学会研究推進委員会 2022年11月)

論文 ((共)は共著, (翻)は翻訳を示し, その他は単著である。)

1. 「現代高校生の進路意識と学校適応」『東洋大学大学院紀要』33, 1996年2月
2. 「高等学校における職業観形成と進路学習との関連」『東洋大学大学院紀要』34, 1998年2月
3. “The Practice to encourage the willingness of students to express themselves — English class practiced by the way of education using Seikatsu Tsuzurikata —” 『東洋大学大学院紀要』36, 2000年2月

4. 「アメリカ合衆国の「学校から仕事への移行」プログラムから学ぶもの」『教育』51 (4), 2001年4月
5. 「大学における体験活動を取り入れた進路授業の進路決定自己効力に関する研究 (1)」(共)『上越教育大学研究紀要』21 (1), 2001年10月
6. 「明治・大正期の学校教育制度における職業指導の基盤形成に関する考察」『東洋大学大学院紀要』38, 2002年3月
7. 「国際理解教育における学習機能に関する試行的研究」『日本特別活動学会紀要』10 (10), 2002年3月
8. 「小学校及び実業補習学校における学校生活から職業生活への「移行」に関する研究—文部省訓令第20号発布以前の時期を中心に—」『産業教育学研究』32 (2), 2002年7月
9. 「少年職業紹介ニ関スル件」依命通牒の学校生活から職業生活への移行支援における意義—大阪市少年職業指導協議会後の大阪市における少年職業紹介を辿りつつ—」『産業教育学研究』33 (2), 2003年11月
10. 「教職課程における「教科以外の活動の指導」に必要な資源に関する調査—教育実習担当教員への調査を通じて—」(共)『上越教育大学研究紀要』23 (2), 2004年3月
11. 「学校教育への職業観・勤労観形成の導入過程における教科外活動の役割」『日本特別活動学会紀要』12 (2), 2004年3月
12. 「キャリア教育の導入と進路指導における社会的体験」『生徒指導学研究』3, 2004年11月
13. 「大学における体験活動を取り入れた進路授業の進路決定自己効力に関する研究 (2)—職業レディネス・テスト後の進路自己効力の変化に焦点をあて—」(共)『上越教育大学大学院研究紀要』24 (2), 2005年3月
14. 「わが国に少年職業指導創始期における職業指導論の展開—大阪市立児童相談所の設立に焦点をあてて—」『進路指導学研究』23 (1), 2005年5月
15. 「進路指導からキャリア教育への移行期を迎えた学校教育」『季刊教育法』145 (145), 2005年6月
16. 「人間形成におけるキャリア教育の意義」『矯正教育研究』52, 2007年3月
17. 「今, キャリア教育の本質に迫る」『教育と医学』57 (9), 2008年9月
18. 「わが国小学校におけるキャリア教育の導入過程研究」『早稲田大学大学院教職研究科紀要』1, 2009年3月
19. 「児童期・思春期のキャリア教育の進め方」(共)『教育心理学年報』50, 2011年3月
20. 「わが国大正期の学校改革における職業指導の役割—大阪市本田尋常小学校長三橋節の思想及び教育実践を通して—」『早稲田大学大学院教職研究科紀要』3, 2011年3月
21. 「社会的・職業的自立を促進する特別活動—特別活動とキャリア教育の関連から—」『日本特別活動学会紀要』20, 2012年3月

22. 「小学校五年生、六年生におけるキャリア教育」『児童心理』66 (951), 2012年6月
23. 「『生き方の教育』としての進路指導, キャリア教育」『信濃教育』(1523), 2012年12月
24. “Career Counseling in Asian Countries: Historical Development, Current Status, Challenges and Prospect” *Journal of Asia Pacific Counseling, Volume 3, Number 1, The Korean Counseling Association* 3 (1), 2013年2月
25. “Development Process Career Education in Japan” *Proceedings of The International Conference on New Careers in New Era*, 2013年10月
26. 「コミュニティ・スクールにおける地域資源を活かした特別活動の展開」(共)『早稲田大学大学院教職研究科紀要』8, 2016年
27. “Vocational Guidance, Career Guidance, and Career Education phases in Japan”『早稲田大学大学院教職研究科紀要』8, 2016年3月
28. 「日本と韓国におけるキャリア教育の展開」(共)『進路指導』89 (1), 2016年3月
29. 「世の中の動き, 職業世界に関心をもつ—「工場見学」を通じたキャリア教育から」『児童心理』70 (1030), 2016年10月
30. 「教職大学院の学部新卒学生等新卒学生におけるキャリア・パスの研究—教育管理職へのキャリア・パスに焦点をあて—」(共)『早稲田大学大学院教職研究科紀要』9, 2017年3月
31. 「教職大学院の学部新卒学生におけるキャリア・パスの研究Ⅱ—教育管理職養成聞き取り調査や教職大学院学部新卒学生帳をもとに—」(共)『早稲田大学大学院教職研究科紀要』10, 2018年3月
32. 「米国カリフォルニア州におけるキャリア教育とキャリア・カウンセリング」『日仏教育学会年報』26, 2019年9月
33. 「学校教育における経験を変える学びと仕事をつなぐ Linked Learning 先端教育」『先端教育』1, 2019年11月
34. “A Preliminary Comparison of Career Education for Youth among Ten Asian countries: A Synthesis of Country Reports from the 2017 ARACD Conference” (共) *Indian Journal of Career and Livelihood Planning* 8 (1), 2019年12月
35. 「平成期と進路指導・キャリア教育」『早稲田大学教職大学院紀要』12, 2020年3月
36. 「深い学び再考—Post Covid-19 を見据えて」『学校教育研究』35, 2020年10月
37. 「米国カリフォルニア州におけるキャリア教育改革—リンクト・ラーニングと学校アカウントビリティ—」(共)『早稲田大学教職大学院紀要』14, 2022年3月
38. 「21世紀型教員の質保証システムにおける「成長指標」の開発」(共著)『早稲田キャリア教育研究』13, 2022年3月